

# 甲斐の国から新たなる飛躍へ!

## ～第60回関東甲信越理容競技大会を開催～

山梨県理容生活衛生同業組合(齊藤信善理事長)は、7月18日(月祝)に甲府市総合市民会館において、「甲斐の国から新たなる飛躍へ!」をテーマに、関東甲信越ブロック1都9県の理容組合に所属する約500名の選手・関係者の参加による第60回関東甲信越理容競技大会を開催した。



第60回関東甲信越理容競技大会  
「齊藤理事長あいさつ」

理容競技大会では、クラシカルカット・ファッションカテゴリー、トレンドカット・オン・レディス、トレンドカット・オン・メンズの3部門に100名の選手

がエントリーし最新のヘアスタイルや技術を披露した。

続いて行われた理容2016メッセージ大会では、関東甲信越ブロックの代表者が、日頃の営業活動や組合活動などを通じて得た自らの経験や成果を意見として発表し、理容業の活性化と未来の理容業の在り方についての理解と関心を深める契機となった。

また、関東各地から参加した関係者に向けて、山梨県の物産・特産品を知ってもらうための県産品販売コーナーを設置した。当日は、35℃を超える猛暑にも関わらず、中央会の会員組合及び組合員の19社26ブースの出展があり、大会を盛り上げた。

齊藤理事長は、「日頃から練磨された技術を競い合う伝統ある大会を実行県として盛大に開催することが出来たことを、関係者及びご協力頂いた中央



理容競技大会の様子

会の会員組合の皆様大変感謝します。近年は、低料金に設定した店が新規参入するなど、当業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、今後は組合員が一致団結して組合活動と日々の業務を行っていくことで“お客様への最高のおもてなし”を行っていきたい。」と述べ大会を閉会した。